

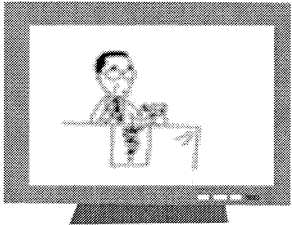
国 労 ち ば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 加藤 見一
編集 高橋 弘幸
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963
FAX 043(238)5967

やっぱり
労働組合は
国労だ

「コロナ赤字」を理由に合理化が目白押し

拡大中央委員会・東日本本部拡大委員会を開催



コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、拡大中央委員会はリモート併用、東日本本部拡大委員会は書面開催として行われ、組織拡大や〇二〇二春闘・参議院選挙など当面する闘争方針が確立された。

第192回拡大中央委員会は、1月29日、交通ビル地下会議室で開催された。

コロナ感染拡大防止のためリモートを併用しての開催とのことから、千葉地本としては、加藤委員長と越川副委員長が地本事務所で参加することとした。

委員会は、議長に東京地本・熊田委員、副議長に北陸地本・太田委員を選出した後、松川委員長から「国労の課題と方向性、安全・安定輸送の問題、2022春闘、来たる参議院選挙」について、九州地本や岡山地本、名古屋地本などから発言があり、利用者アンケートや意見書採択などを取りくんでいると報告され、千葉としても同様の問題を抱えているだけに参考になった。

春闘についても発言があったが、特に東日本は、昨年は定期昇給

院選挙、交通共済について」等々のあいさつがされた。

続いて岩元書記長から当面する闘争方針案が提案された後、各委員から発言がされた。

地方で同じ問題を抱える「コロナ禍の中で各社ともに赤字決算を口実に合理化が目白押しで、安全やサービス、労働条件が脅かされている」といった発言があった。

無人化やワンマン化などのローカル線問題については、九州地本や岡山地本、名古屋地本などから発言があり、利用者アンケートや意見書採択などを取りくんでいると報告され、千葉としても同様の問題を抱えているだけに参考になった。

春闘についても発言があったが、特に東日本は、昨年は定期昇給

合理化に歯止めを

第39回東日本本部拡大委員会は、2月11日、書面開催で行われた。委員からの発言は事前に東日本本部に送られ、その内容を組み込んだ書記長集約により豊富化された議案が可決された。

加速する合理化施策 千葉地本の北嶋委員は次のように発言した。「人減らし合理化・外注化の結果、JR発足時より3万人削減さ

も半減されたこともあり、本部としても定期昇給の完全実施に向けた闘いが重要なとの答弁もされた。臨場感薄いリモート

その他、様々な発言があり、各地方の取り組みに感心させられると同時に、どこも同じ課題を抱えていることを改めて再認識させられた。



2022春闘総決起集会

日時：3月8日(火)18時30分
場所：千葉市民会館特別会議室

国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議

れている。「変革2027」は「働き方」や「組織の在り方」も変えていく経営方針で、この中に「労組切り」や「生産性の向上を声高に叫ぶ」も含まれていたと考える。「みどりの窓口」も毎年閉鎖が続く駅の無人化・業務委託、改札の無人化も実施されている。新たに「お客様サポートコールシステム」も導入された。昨年のダイヤ改正で内房線・外房線・鹿島線にワンマン運転が導入された。日中時間帯との説明だったが、

それがしても、リモート会議は、臨場感を感ぜられず、集中した議論にもなりづらいと感じた。

しかし、感染してしまったり元も子もなくなるわけで、このシレノマはいつまで続くのかと、やるせなさを感じた委員会となった。

だが、通学時間帯や夜にも走っている。ワンマンが導入されて2件の傷害事象も発生。反対を言わなければ容認・黙認だ。東日本本部も「反対」の声をあげ交渉強化を。共有化と意思統一を図る保線・信号で「新たな拠点」体制が変更された。「赤字」による経費削減での廃止だ。保線では過酷な勤務に。拡大分会長会議を開催し、社員代表選挙や合理化施策、組織拡大に向けた取り組みなどとともに大変な現場の状況を共有し、意思統一を図ってきた。職場組合員がパネラーになり写真などを使い職場実態を解説し相互議論する集会も企画している。安全と利便性の確保に向け、本部として歯止めとなる様な行動と利用者や関係自治体との連携した取り組みの強化と提起をお願いする」

全国総

北京オリ
ンピックは
17日間の競
技を終え、
多くの感動を与え閉会
となった。同じ時期、
国内では新型コロナ変
異株のオミクロン株に
より経験したことのない
感染拡大となり東京
都では一万人台という
高止まりで医療体制が
逼迫し、看護職求人が
必要となっている。J
R東日本は「変革20
27」のスピードアッ
プを図り、テレワーク
を推し進めている一方
で、多くの社員は安全・
安定輸送を確保しなが
ら陽性者が出てもおか
しくない環境下で職務
に従事している。体調
不良時は、お客さまや
他社員への感染を防ぐ
ため、速やかに受診さ
せている。JR東日本
は東日本震災という
最悪な事態でも定期昇
給だけは切り下げなか
った。しかし昨年は、初
めて経営上の理由で定
期昇給を半減させ、多
くの若手社員のモチベ
ション低下につながっ
ている。赤字だからと
いうって賃金を下げる理
由にはならない。安心
して働き続ける為に国
労に加入し、春闘を闘っ
ていこう。(福)

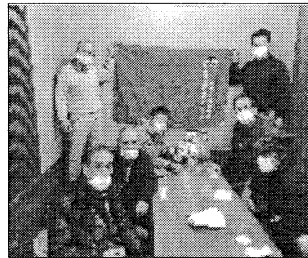
機関整備が進む

定期大会を開催

銚子運輸区分会

1月27日、銚子市内にて開催した。

新役員体制
委員長 川口 正巳
副委員長 植田 勝
〃 宇野沢 浩
書記長 五十嵐定之



両国分会

2月4日、地本会議室にて開催した。

新役員体制
委員長 佐藤 良秋
副委員長 黒川 晴久
書記長 松本 光男

佐倉運輸区分会

2月5日、佐倉市内にて開催した。

新役員体制
委員長 西谷 政記
副委員長 長谷川喜宏
書記長 新橋由紀夫
(写真参照)

千葉機関区分会

2月12日、地本会議室にて開催した。

新役員体制
委員長 越川 洋
副委員長 酒井 仁
書記長 古賀 将也

千葉貨物協議会

2月12日、地本会議室にて開催した。

新役員体制
議長 齋藤 郁夫
事務長 酒井 仁

行動



3月

- ◆8日(火)11時、新浦安分会職場集会
- ◆8日(火)15時、集会スタッフ会議
- ◆8日(火)18時30分、2022春闘総決起集会
- ◆10日(木)18時30分、東京東部けんり春闘発足集会&デモ行進
- ◆11日(金)11時、両国分会職場集会
- ◆16日(水)13時、地本執行委員会
- ◆20日(日)13時、新小岩保線分会定期大会

2022春季生活闘争学習会

基本給を中心に据えた賃上げを

千葉県交運労協主催の「2022春季生活闘争学習会」は新型コロナウイルス感染症の影響で、書面にて開催された。

「2022春季生活闘争の基本的な考え方」



として、コロナウイルス感染症の収束は未だ見えず、失政と言うべき度重なる「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」により交通運輸・観光産業の経営動向は予断を許さない状況。
賃金体系では、超勤手当のウェイトが大きく、コロナ禍による業績悪化や時間外労働の短縮により年収が大幅にダウンしている。基本給を中心に据えた賃

上げの必要性を再認識し闘いを展開していく。コロナに加え利用者からのクレーム対応も重なり職場で働く者の疲弊は進み離職や人材不足を招いている観点から「人材の確保・育成・定着」「産業の将来的な持続可能性」「産業内の格差是正」を堅持し、社会に必要な不可欠な産業で働く労働者に対し、社会的役割に相応しい賃金と労働条件を求めていくと延べている。

国労千葉地本からの報告では、一つ目として「国労統一重点要求」を中心とした要求の討議を深め、職場要求の実現に向け全職場での集会開催や宣伝行動など創意工夫した取り組みを展開する。

職場点検から「一人一要求」を二つ目として、業務委託・外注化施策の深度化で効率化・要員削減が進められ、利便性が損なわれ、重大事故やインシデント、輸送障害等が発生する要因が作られているなか、安全・安定輸送の確保と労働条件の改善、技術継承、教育の充実は喫緊の課題。今こそ、

「ロシアによるウクライナ軍事侵略に強く抗議し、即時停戦と紛争の平和的解決を求める声明」

ロシアのプーチン大統領は、2月21日、ウクライナ東部地域のロシア系住民が実効支配する「ドネツク人民共和国」「ルガンスク人民共和国」の独立を承認、「友好協力相互援助条約」に署名し、派遣要請を根拠に24日にウクライナへの武力攻撃を開始し、軍事侵略に踏み切った。

ウクライナの主権と領土を武力で侵し、一方的に独立承認するなどの行為は紛争の平和的解決を義務付ける国際法に反する蛮行であり断じて許されない。

この間、プーチン大統領は、公然と核兵器使用をほのめかす発言をし、ベラルーシ軍と共同で核兵器搭載可能な大陸間弾道ミサイルを使った軍事演習を実施するなど、核による威嚇を繰り返してきた。

核兵器禁止条約が発効し、核兵器の非人道性が指摘されるなかでのプーチン大統領の発言は、「核兵器」を弄ぶものであり、断じて許されない。

国労はロシアによるウクライナ軍事侵略に強く抗議するとともに、憲法9条が掲げる戦争放棄を強く求め、世界の労働者・市民と連帯して共に平和・人権・民主主義を守り抜くため、全力をあげる決意である。

2022年2月28日
国鉄労働組合

